

2024年11月

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.21

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 見えていますか？
視覚障害がもたらす思わぬ**運転リスク**
- ・ **濃霧**の際に**気を付ける事**
- ・ 交通ヒヤリハット
(ペダルの踏み間違い)
- ・ 愛知県警からのリーフレット11月

視覚障害が及ぼす影響

視覚が損なわれる目の病気



緑内障

視神経に障害が生じて、徐々に視野が狭くなっていく。自覚症状に乏しい。写真は、初期～中期の一例。



加齢黄斑変性

網膜の中心部（黄斑）に異常が生じ、物がゆがんで見える、視野の中心が暗くなる、といった症状をもたらす。



網膜色素変性

網膜に異常が生じる遺伝性の病気。初期にはリング状に視野が欠ける輪状暗点が生じ、徐々に視野が狭まっていく。

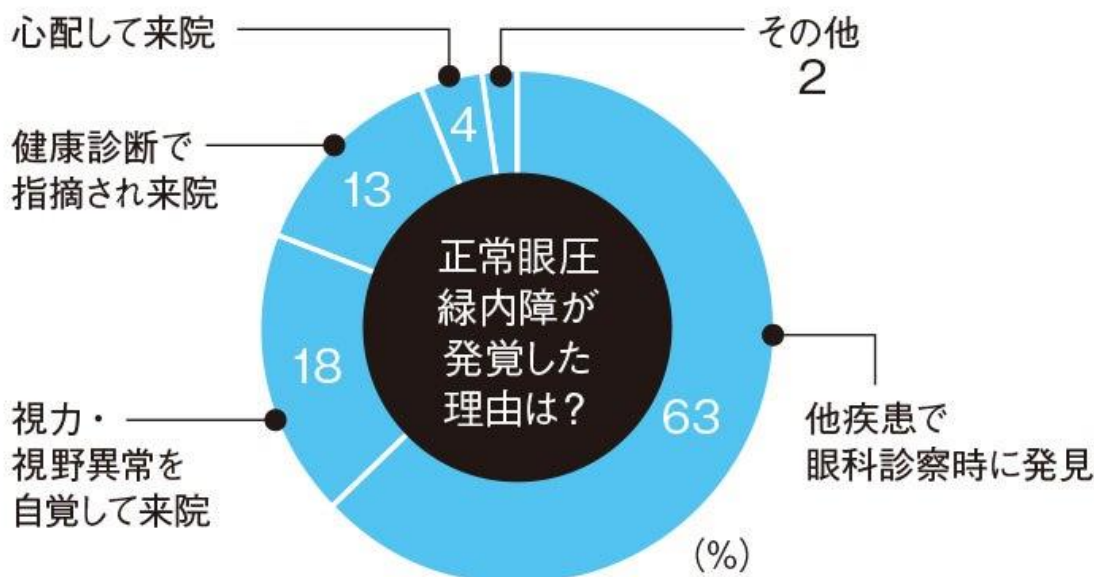


白内障

加齢に伴い水晶体が白く濁って、視界が全体的にかすむ。逆光下などではより見えにくくなることも。

早期発見が大事

40歳過ぎたら検診をしよう！！



日本人の失明の原因で一番多いのが**緑内障**です。**初期**の段階で気付きにくく進行してしまふ。**約400万人**が緑内障になっている。

年に1度の健診をして自分の
「Q O V」を守ろう！！
(クオリティ・オブ・ヴィジョン)

濃霧走行の注意点

北部や高地は「夏」に多いが
内陸部では「秋」が多い!!

知っておこう!!霧には**3段階**の表現の仕方がある

視程1km~10km未満は「霧」

視程1km未満は「霧」

視程100m未満「濃霧」

濃霧の中で前方の車両はどう見える?

視程30m

JAF「前方にいる停止車両のライト点灯の違いで、見えた位置は?」の資料を基にウェザーニュースで作成

濃霧	前方の停止車両が見えた位置					昼・夜 (ライトの向き)
	10m	20m	30m	40m	50m	
無灯火 		25m手前	15m手前	15m手前		昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)
テールランプ点灯 		25m手前	30m手前	25m手前		昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)
リアフォグランプ点灯 			30m手前	40m手前	35m手前	昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)
ブレーキランプ点灯 			35m手前	40m手前	35m手前	昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)



濃霧の中で前方の車両はどう見える?

視程60m

JAF「前方にいる停止車両のライト点灯の違いで、見えた位置は?」の資料を基にウェザーニュースで作成

濃霧	前方の停止車両が見えた位置							昼・夜 (ライトの向き)
	30m	40m	50m	60m	70m	80m	90m	
無灯火 		35m手前	35m手前	30m手前				昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)
テールランプ点灯 		40m手前	40m手前	60m手前				昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)
リアフォグランプ点灯 			45m手前			90m手前	85m手前	昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)
ブレーキランプ点灯 			50m手前			90m手前	85m手前	昼(下向き) 夜(下向き) 夜(上向き)



濃霧の中を運転するには

濃霧に遭遇したら

- ① **スピード**を落とす
- ② **車間距離**を十分に取る
- ③ 窓を少し開け **周囲の音**を聞く
- ④ ヘッドライトを **ロービーム**に点灯

危険を感じたら運転をやめましょう！！



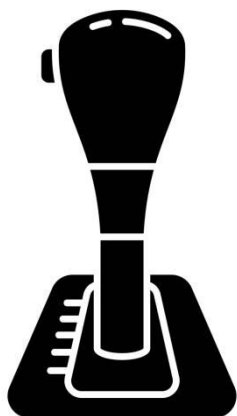
交通 ヒヤリハット

ヒヤリ：ペダルの踏み間違い



状況

前進しようとした時にレバーがバックにあり、アクセルを踏み込んだ。



ヒヤリ

前進しようとした時に、シフトレバーがRにあり、Dにあると思い込みアクセルを踏み込んだ。

一歩間違えば、重大事故になっています。

「**だろう**」と思わず、常に「**かもしれない**」

と予測して運転しましょう。

車を運転する時は、急がず、焦らず確認して運転しましょう。



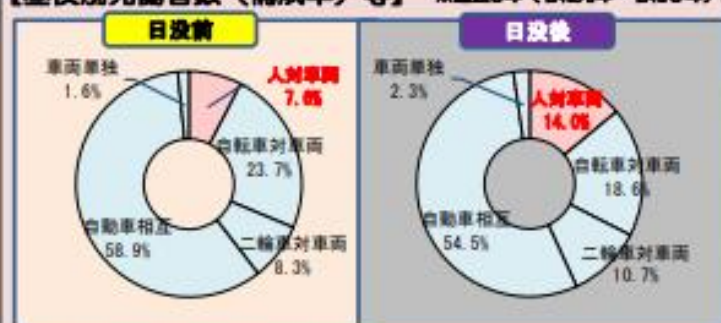
夕方の5～7(ゴーンナ)は“魔の時間”
～歩行者は反射材等を着用
ドライバーは早めのライトオン～

交通事故防止のPOINT

11月号

暗い時間帯は歩行者事故が多発します！～動かそう！反射材！～

【昼夜別死傷者数(構成率)等】 ※過去5年(令和元年～令和5年)に愛知県内で発生した事故(列車事故を除く)をもとに作成



日没前: 日の出から日の入り前まで
日没後: 日の入りから日の出前まで

左の表をご覧ください。
交通事故による「人(歩行者)対車両」事故の死傷者構成率は、「日没前」よりも「日没後」が約2倍に増えることがわかります。
日没後は、全死者のうち歩行者が約半数(45.5%)を占めています。

※歩行者死者数(「人対車両」事故)



日没後は歩行者の姿が見えにくいことなどが原因と考えられます。
今回は、人の眼の特性を紹介するので、暗い時間帯が長いこの時期の事故防止に役立てていただきたいと思います。

日本交通医学工学研究会所属 名古屋大学医学部眼科 病院助教 井岡大河先生に伺いました！

POINT 反射材・自発光式LEDバンドは、動かすことで効果が上がります！



井岡先生

人の視野は、大きく「中心視野」と「周辺視野」に分けることができます。
ドライバーが左右から来る歩行者を早く発見しようとした場合、周辺視野で視界に入った歩行者を認識する必要があります。
周辺視野は、色の認識は乏しいですが、**明暗の変化や動くものを敏感に感じ取ります**(特に夜間)。よって、暗い場所で有効な反射材・LEDバンド等は、**大きく動く体の部位につけると**、より早く発見してもらえる可能性があります。

※上からみた図



【周辺視野】
明・暗
動くものに
敏感に反応！

動かす！

反射材・LEDバンドは...

リュックやカバンだけでなく、歩行中に大きく動く腕や靴の側面につけるとドライバーから認識されやすいと考えられます。また、ピカピカ点滅するものもより効果的です！



発見！



バンド型反射材



LEDバンド



反射材付きスニーカー

◆11月の日没時刻は、午後4時30分(1回)から午後4時41分(30回)です。